



2024年11月16日に新宿中央公園で開催されたイベントの様子。



公園内の剪定作業で発生した枝材。



コースターに絵付けを行い、イベントで新宿中央公園じゃぶじゃぶ池周辺に装飾。



新宿中央公園内に設置したエコスタッグ(2022年5月作成)

創意工夫
アイデア
の題名

新宿中央公園 園内で発生した剪定枝のその後の利用

2025年度 全国1級造園施工管理技士の会(一造会)
すてきな造園空間をつくった創意工夫・アイデアコンクール

No.

6

応募者1

(現場代理人)

応募者2

(主任技術者)

その他
応募者

取り組み時期

2022年5月～
2024年12月

現場の
所在地

東京都
新宿区

撮影日

2024年11月他

アピール
ポイント

弊社で植物管理を行っている新宿中央公園では、毎年樹木の剪定作業で多くの剪定枝が発生します。剪定枝をただゴミとして処分してしまうのではもったいないため、公園では次の取り組みを行っています。①枝材の輪切りをあらかじめ作成し、来園者に絵付けを行ってもらうコースター作りのイベントや各種イベントの装飾として活用。②園内に枝で組んだエコスタッグを設置して、中に落ち葉を溜め、堆肥作りや土壌生物の棲み家として活用。

部門

- 造園工事
- 植物管理
- 公園等の管理運営
- 業務改善・効率化

2025年度

補助説明資料



新宿中央公園のイベントで使用したコースター。弊社では700枚作成。



2024年12月クリスマスの園内装飾。



2024年11月3日にJR新宿駅で開催されたイベントで作成したコースター。



JR新宿駅イベントの様子。

昨年11月16日に新宿中央公園で「秋まつり」のイベントを開催。このイベントは新宿御苑で同日開催された「新宿エコカ
補助 助 説明文 ル(内藤とうがらし普及イベント)」に端を発しており、両公園で発生した枝材や竹を利用してモニュメントを設置しまし
た。コースターは内藤とうがらしをモチーフとした絵付けを行い、装飾を行いました。また、同年11月3日にはJR新宿
駅のイベントでコースター作りを行いました。剪定枝を通して地域連携を図っています。

取り組み 時期	2022年5月～ 2024年12月
撮影日	2024年11月他